

48

ななめ通り 【地図】A-4~B-4

ななめ通り（道道花畔札幌線）は、かつて、石狩街道あるいは茨戸街道などと呼ばれ、開拓時代の主要幹線でした。

北8条東5丁目に設置されている「由来表示板」には、ななめ通りの歴史やゆかりの人物伝が書かれ、当時の様子を知ることができます。



49

丘珠獅子舞 【地図】B-2

富山県からの入植者によって伝えられ、明治25（1892）年に創立された丘珠神社に奉納されて以来、毎年9月15日の丘珠神社秋季例祭で舞が奉納されています。獅子舞は、開拓者たちの精神的なよりどころとして当時の姿のままに伝承されてきており、歴史的意義が非常に高いことから、昭和49（1974）年10月に札幌市無形文化財第1号に指定されました。



50

札幌景観資産 【地図】①A-3 ②A-4 ③C-3

デザイン、様式が特徴的な建造物や市民や観光客から親しまれている建造物などを札幌市景観条例に基づく札幌景観資産に指定しています。東区では下記の建造物などが指定されています。



① 札幌聖ミカエル教会
（東区北19条東3丁目4-5）



② 北海湯 (STUDIO BAR 北海湯)
（東区北7条東3丁目28）



③ 旧沼田家倉庫 (豆蔵珈房 宮田屋東苗穂店)
（東区東苗穂5条2丁目11-18）

④ モエレ沼公園 (東区モエレ沼公園1-1)

⑤ 旧札幌麦酒製麦所 (サッポロビール博物館・サッポロビール園開拓使館) (東区北7条東9丁目1-1)

区を代表する街路樹

街路樹は、四季それぞれの移り変わりを身近に見せてくれます。

東区の街路樹は比較的新しいものが多く、昭和40（1965）年ころから植えられたものが大部分です。現在では、幅員12メートル以上の街路のほとんどに植えられています。その中から特色ある街路樹をいくつか紹介します。

道道札幌環状線のクロマツ

環状線の中央分離帯に植えられているクロマツは、歩道のナナカマドの赤い実とともに特徴ある道路景観をつくりだしています。昭和57（1982）年の北方都市会議での決定を経て植栽されたもので、北国の冬を彩る常緑樹として貴重な存在です。



天使病院周辺のプラタナス

プラタナスは、白いまだらの樹肌と大型の一枚葉が特に美しく、都会的風景を演出する樹です。昭和15（1940）年ころに修道女によって病院の敷地の外周（北12条東3丁目）に列状に植えられたもので、都市計画による道路の拡幅によって街路樹となりました。



区内の保存樹木

「保存樹木制度」とは、「都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律」及び「札幌市緑の保全と創出に関する条例」に基づき、由緒由来や学術的価値のある樹木や並木など街の中の貴重な樹木等を「保存樹（樹林）」として指定し保護する制度です。

51 諏訪神社
（北12東1）
【地図】A-4

保存樹木：ヤチダモ、ハルニレ



52 大覚寺
（北10東11）
【地図】A-4

保存樹木：ヤチダモ、イチヨウ



53 法国寺(本町1-1) 【地図】B-4
保存樹木：イチヨウ



55 雪印メグミルク(株) 【地図】B-4
（酪農と乳の歴史館周辺）(苗穂町6)



保存樹木：ハルニレ、クロマツ、イチヨウ、イチイ、トウヒ、オオバボダイジュ、ヤチダモ

54 サッポロ
ガーデンパーク
（サッポロビール博物館
周辺）(北7東9)

【地図】A-4

保存樹木：ハルニレ

